〔主な意見〕

〇清水座長による今後のまちづくりのあり方について（主な内容）

・まちづくりは，まちのコンテンツをつくることである。小さくてもいいので福山らしいものを考えることが大切だと思う。

・敷地に価値はなくエリアに価値がある。

・行政が主導してビジョンを示すことが重要だと思う。民間はビジョンを実現する投資を行っていくことが重要となる。

〇意見交換での主な意見

＜再生に向けた視点＞

・何もかも盛り込んだものではなく，これをやるんだという特化した内容のビジョンができればいいと思う。

・再生といってもハコモノをつくればいいとは思わない。

＜文化，観光＞

・福山駅前は住んでいる人には便利だが，観光客や車を持っていない若い人が利用する分には何もない感じがする。

・外国人に対してはとりあえず鞆の浦に連れて行くことが多い。駅前を通過する市内外の人がお金を落とす仕組みがないと思う。

＜憩い，公共空間＞

・フランスやドイツでは車の空間から歩行者の空間を取り戻している。

・極端かもしれないが，例えば駅の北から図書館まで全体が公園だととらえてみる。その中にショップ，カフェがあり，住んでいる人がランニングをしたり，くつろげるような場所があってもいいと思う。そこにしかないもの，そこでしか買えないもの，体験出来ないものが大切だと思う。

・ばらのまちを日本や世界に発信していくことに取り組んではどうか。

＜若者＞

・若い人の中には起業したいと考えている人もいるが，リスクが高いと感じている人もいる。若い人のチャンスをつくることができればと思う。

・福山の強みに大学の集積がある。将来，主役になる学生を巻き込んで行きたい。

＜情報発信＞

・福山は一大ファッションのものづくりのまちだと思う。福山のものづくりがすべて見えるショーケースなどはおもしろいと思う。

・ビジョンそのものが情報発信になるのではないか。民間投資を呼び込むメッセージとなるのではないか。
・福山はデニムの聖地であり，そのことを発信できる場が必要だと思う。

＜交通＞
・福山駅は，乗降客１日４万人，のぞみが１時間に１本停まる主要な駅である。これをストックと捉え，どう賑わいに繋げるかだと思う。
・福山は地形が平坦で雨が少ない気候なので，学生もほとんど自転車を使っている。自転車をキーワードにして何かできればと思う。

＜経済，働く＞
・将来的に働き方が自由になるとライフスタイルに目が行き，暮らす場所を探す。暮らす場所を探すワーカーの方に対して福山をアピールできるものが必要だと思う。
・学生の就職の視点からすると女子学生が帰ってこない。女性にとって働く場所が少ない。仕事があれば帰ってくるし，集まってくる。

＜誇り，愛着＞
・ここに住んでいる人が誇りを感じることが大切だと思う。
・地域の人が誇りに思っていないと訴求力を持たない。

＜交流＞
・体験の場として，ワークショップ，ワールドカフェなどいつも何かが起こっている場所になるのがいいのではないか。
・多機能化を提案したい。例えば，一つの建物を午前中は老人大学として使い，昼からは大学が使い，夜はビジネスマンが使うといったことも考えられる。

＜子育て，女性＞
・子育てしているママが助かる場所があってもいい。
・屋根のある公園というコンセプトの図書館がある。お子さんを連れたママとか学生たちで賑わっている。

＜高齢者＞
・車社会で歳をとっても安心して出かけるためには交通機能は重要だと思う。駅前の交通計画を考えることによって民間が提案しやすい環境づくりになるのではないか。
・高齢者が駅前で元気に動けるまち，免許を返上しても安心して暮らせるまちになればと思う。

＜歴史＞
・伏見町は駅前にありながら，低層の建物が残っており，昭和が感じられるのがいい。
・低層であるという意義を十分に考えて歴史を大切にしたまちづくりをしてはどうか。

＜食，健康＞
・渋谷のヒカリエに入っている店は，小さいが地元のオーガニックを使いベンチャー的に行っている。これは地方都市でもできると思う。
・癒される場は必要だと思う。オシャレなカフェや緑があるといいと思う。